

金沢マラソン2022 (K M2022) 大学連携成果発表会報告

K M2022の経済波及効果について

令和5年3月26日
金沢学院大学 経済学部
豊田 欣吾

構成

- (1) K M2022ランナーアンケートの概要
- (2) K M2022の石川県内への経済波及効果
- (3) ランナーの参加回数別消費単価・同行者数
- (4) 県外ランナーの観光動向
- (5) まとめ

表 1 KM2022ランナーアンケート回答者

地域名	参加者（事前登録者）		アンケート回答者	
	人数	構成比	人数	構成比
石川県内	5,527	42.2	1,650	40.8
金沢市内	N.A.	N.A.	929	23.0
金沢市外	N.A.	N.A.	721	17.8
石川県外	7,556	57.8	2,391	59.2
隣接県	1,000	7.6	314	7.8
遠隔県	6,556	50.1	2,077	51.4
関東圏	2,220	17.0	695	17.2
近畿圏	1,993	15.2	632	15.6
東海圏	1,480	11.3	456	11.3
その他	863	6.6	294	7.3
合計	13,083	100.0	4,041	100.0

- ・ 今回のアンケート回答者総数は4,041件
- ・ 回答者の地域別の構成は事前登録者の地域別構成と近似しており、母集団の状況を反映しているものと考えられる。

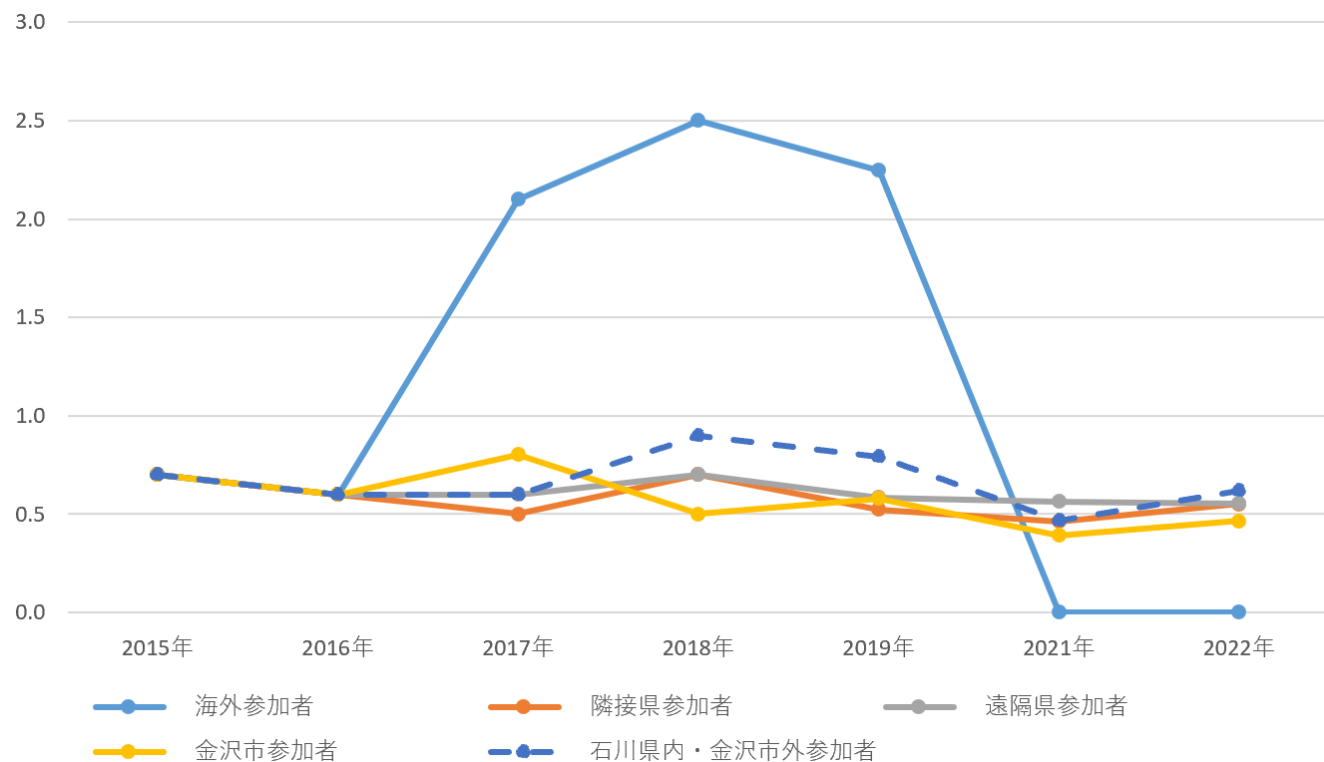
資料：KM2022ランナーアンケート結果をもとに作成

表2 ランナーアンケート回答者地域別内訳推移

		KM2017(C)			KM2018(D)			KM2019(E)			KM2021(F)			KM2022(F)		
		回答者数	構成比	事前登録者 構成比	回答者数	構成比	事前登録者 構成比	回答者数	構成比	出走者数 構成比	回答者数	構成比	事前登録者 構成比	回答者数	構成比	事前登録者 構成比
石川県内	金沢市内	1,080	28.2	N.A.	800	23.1	N.A.	788	20.9	N.A.	1,195	22.9	N.A.	929	23.0	N.A.
	石川県内（除く金沢市内）	842	22.0	N.A.	673	19.4	N.A.	698	18.5	N.A.	930	17.9	N.A.	721	17.8	N.A.
石川県内		1,922	50.1	47.2	1,473	42.5	40.3	1,486	39.4	41.5	2,125	40.8	40.5	1,650	40.8	42.2
石川県外		1,911	49.9	52.8	1,994	57.5	59.7	2,283	60.6	58.5	3,084	59.2	59.5	2,391	59.2	57.8
石川県外	北海道・東北・新潟	91	2.4	2.1	101	2.9	2.6	84	2.2	2.1	108	2.1	2.3	105	2.6	2.4
	関東	565	14.7	13.4	518	14.9	14.0	650	17.2	15.5	873	16.8	16.4	695	17.2	17.0
	甲信(山梨・長野)	45	1.2	1.0	46	1.3	1.1	56	1.5	1.1	51	1.0	0.9	43	1.1	1.0
	隣接県(富山・福井・岐阜)	213	5.6	5.9	264	7.6	6.6	227	6.0	6.7	336	6.5	6.5	314	7.8	7.6
	東海(愛知・静岡・三重)	315	8.2	7.0	334	9.6	8.8	333	8.8	8.9	543	10.4	10.6	456	11.3	11.3
	近畿	570	14.9	12.6	550	15.9	14.4	557	14.8	13.3	997	19.1	19.1	632	15.6	15.2
	中国・四国	69	1.8	1.8	84	2.4	2.5	109	2.9	2.5	117	2.2	2.4	95	2.4	2.1
	九州・沖縄	43	1.1	1.1	34	1.0	1.1	44	1.2	1.0	59	1.1	1.3	51	1.3	1.1
	海外	0	0.0	7.9	63	1.8	8.6	223	5.9	7.4	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
合 計		3,833	100.0	100.0	3,467	100.0	100.0	3,769	100.0	100.0	5,209	100.0	100.0	4,041	100.0	100.0
住所地未回答		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
再 計		3,833	100.0		3,467	100.0		3,769	100.0		5,209	100.0		4,041	100.0	

資料：KM2022ランナーアンケート結果をもとに作成

図1 参加ランナー同行者数の推移



【表3】地域別ランナー同行者数推移

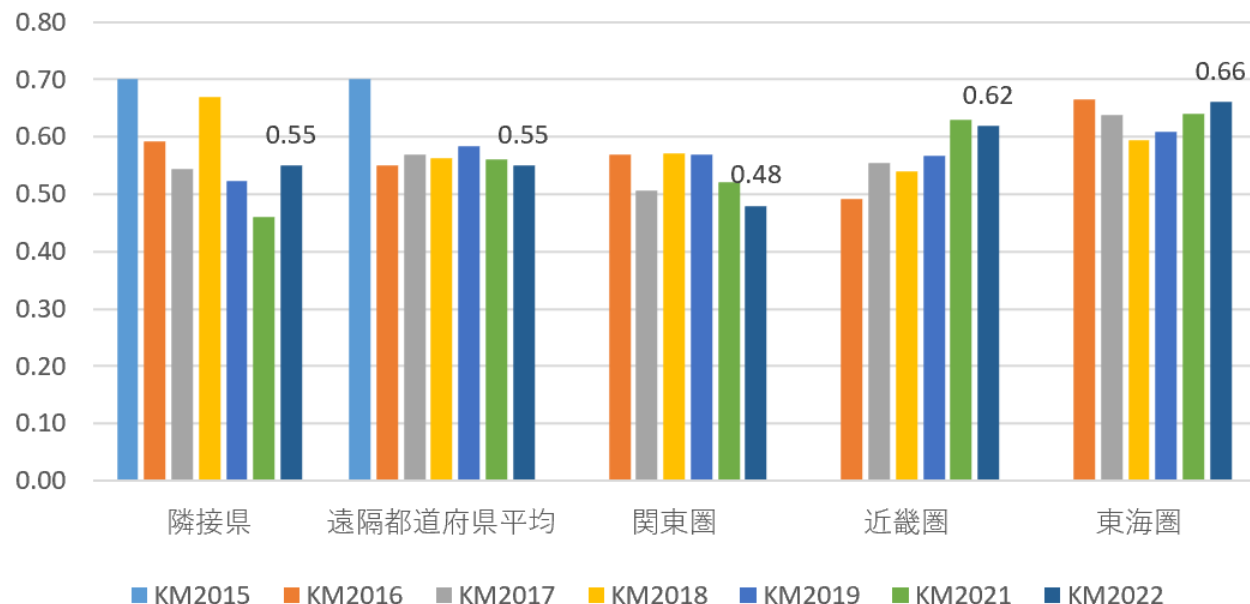
(単位: 人)

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2021年	2022年
海外参加者	0.7	0.6	2.1	2.5	2.2	0.0	0.0
隣接県参加者	0.7	0.6	0.5	0.7	0.5	0.5	0.6
遠隔県参加者	0.7	0.6	0.6	0.7	0.6	0.6	0.6
金沢市参加者	0.7	0.6	0.8	0.5	0.6	0.4	0.5
石川県内・金沢市外参加者	0.7	0.6	0.6	0.9	0.8	0.5	0.6

- ・参加ランナーの一人当たり同行者数は、KM2021と比べて全体として微増。
- ・また、全体の同行者数は参加ランナーが増加したこともあって4,931人から6,536人に増加。
- ・ただし、KM2021同様に参加ランナーを国内在住者に限定したことから、KM2019に比べると依然低い水準。

資料：KM2022ランナーアンケート結果をもとに作成

図2 県外ランナーの地域別同行者数の推移



【表4】県外ランナー 地域別同行者数推移

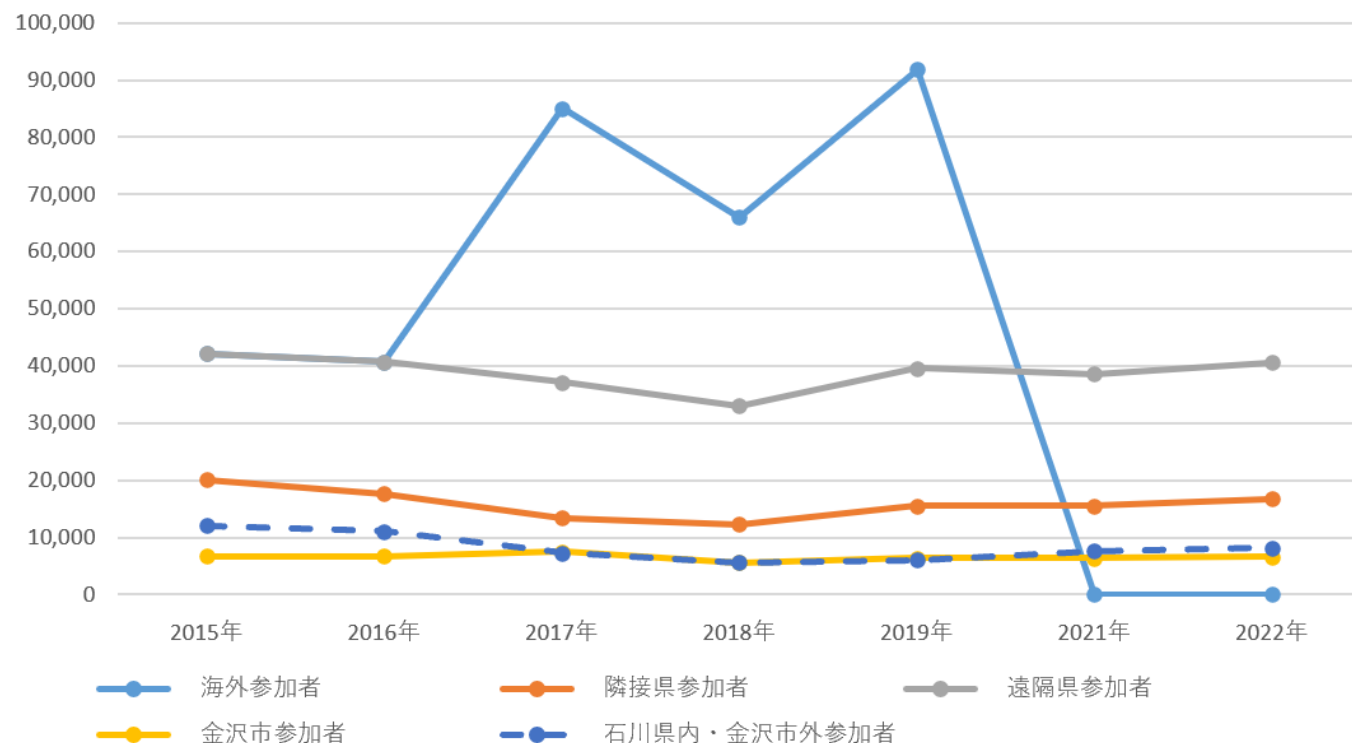
(単位: 人)

	隣接県	隣接県以外				海外
		遠隔都道府県平均	関東圏	近畿圏	東海圏	
KM2015	0.70	0.70	N.A	N.A	N.A	N.A
KM2016	0.59	0.55	0.57	0.49	0.67	N.A
KM2017	0.54	0.57	0.51	0.55	0.64	2.10
KM2018	0.67	0.56	0.57	0.54	0.59	2.50
KM2019	0.52	0.58	0.57	0.57	0.61	2.25
KM2021	0.46	0.56	0.52	0.63	0.64	-
KM2022	0.55	0.55	0.48	0.62	0.66	-

資料: KM2022ランナーアンケート結果をもとに作成

- ・ 隣接県ランナーの同行者数は微増、遠隔県ランナーでは微減。
- ・ 遠隔県ランナーの微減は、関東圏や近畿圏の微減が主因。一方で、東海圏では微増。
- ・ 全体として、県外ランナーの地域別同行者数に大きな違いはない。

図3 参加ランナーの消費単価推移



【表5】参加ランナー消費単価推移

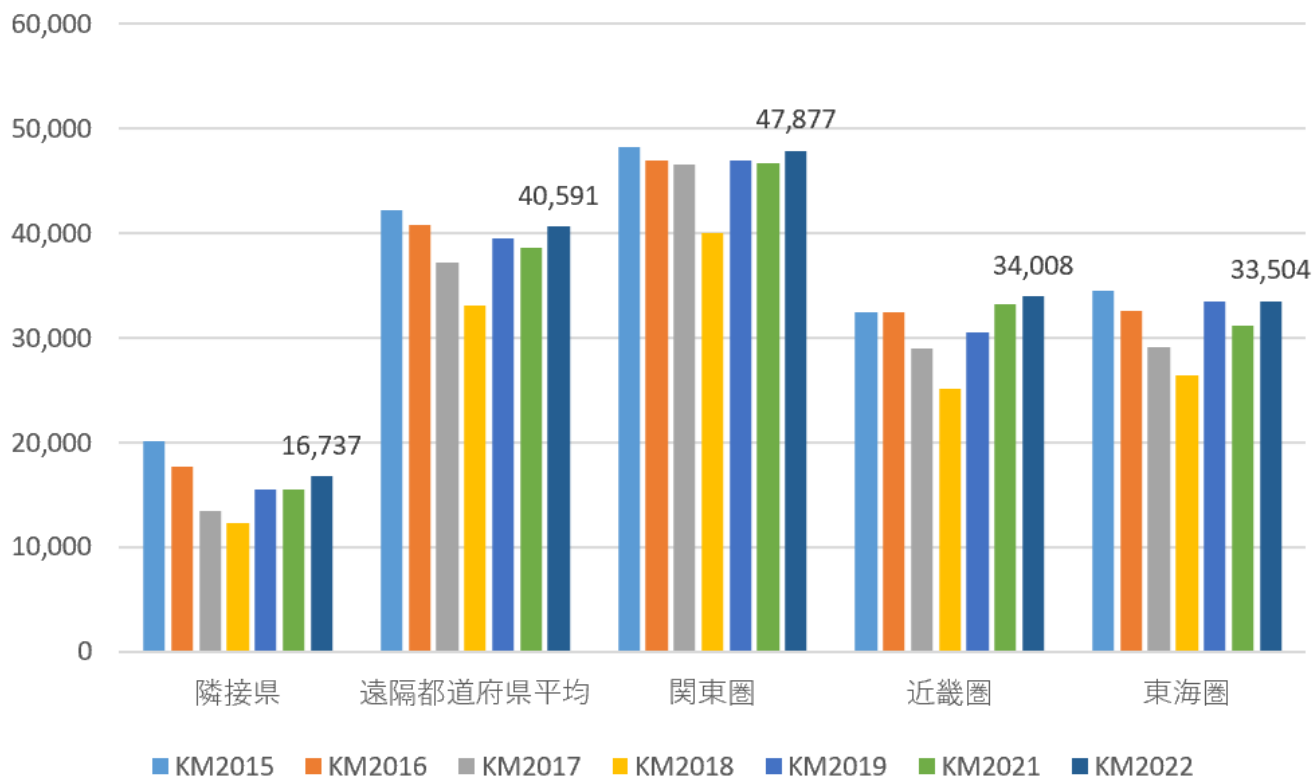
(単位：円)

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2021年	2022年
海外参加者	42,204	40,750	85,000	65,984	91,863	0	0
隣接県参加者	20,132	17,679	13,411	12,296	15,532	15,517	16,737
遠隔県参加者	42,204	40,750	37,148	33,033	39,537	38,536	40,591
金沢市参加者	6,740	6,740	7,543	5,653	6,362	6,427	6,619
石川県内・金沢市外参加者	12,097	11,116	7,331	5,609	6,038	7,560	8,179

- 消費単価はKM2021に比べて全体的に増加。
- 遠隔県ランナーの消費単価は久しぶりに4万円を上回る（40,591円）。
- ただし、消費単価の高い海外ランナーの参加が見送られたことでKM2019と比較すると全体の消費単価は依然低い水準。

資料：KM2022ランナーアンケート結果をもとに作成

図4 県外ランナー 地域別消費単価の推移



【表6】 県外ランナー 地域別消費単価推移

(単位：円)

	隣接県	隣接県以外				海外
		遠隔都道府県平均	関東圏	近畿圏	東海圏	
KM2015	20,132	42,217	48,258	32,403	34,489	N.A
KM2016	17,679	40,750	46,905	32,408	32,529	N.A
KM2017	13,411	37,148	46,520	28,908	29,030	85,000
KM2018	12,296	33,033	40,011	25,154	26,403	65,984
KM2019	15,532	39,537	46,891	30,459	33,408	91,863
KM2021	15,517	38,536	46,726	33,221	31,075	-
KM2022	16,737	40,591	47,877	34,008	33,504	-

資料：KM2022ランナーアンケート結果をもとに作成

- どの地域もKM2021に比べて上昇。とくに遠隔県ランナーの消費単価は久しぶりに4万円を上回る（40,591円）。
- 遠隔県において、関東圏ランナーの消費単価が他圏域のランナーに比べて相対的に高くなるという傾向自体に変化はない。

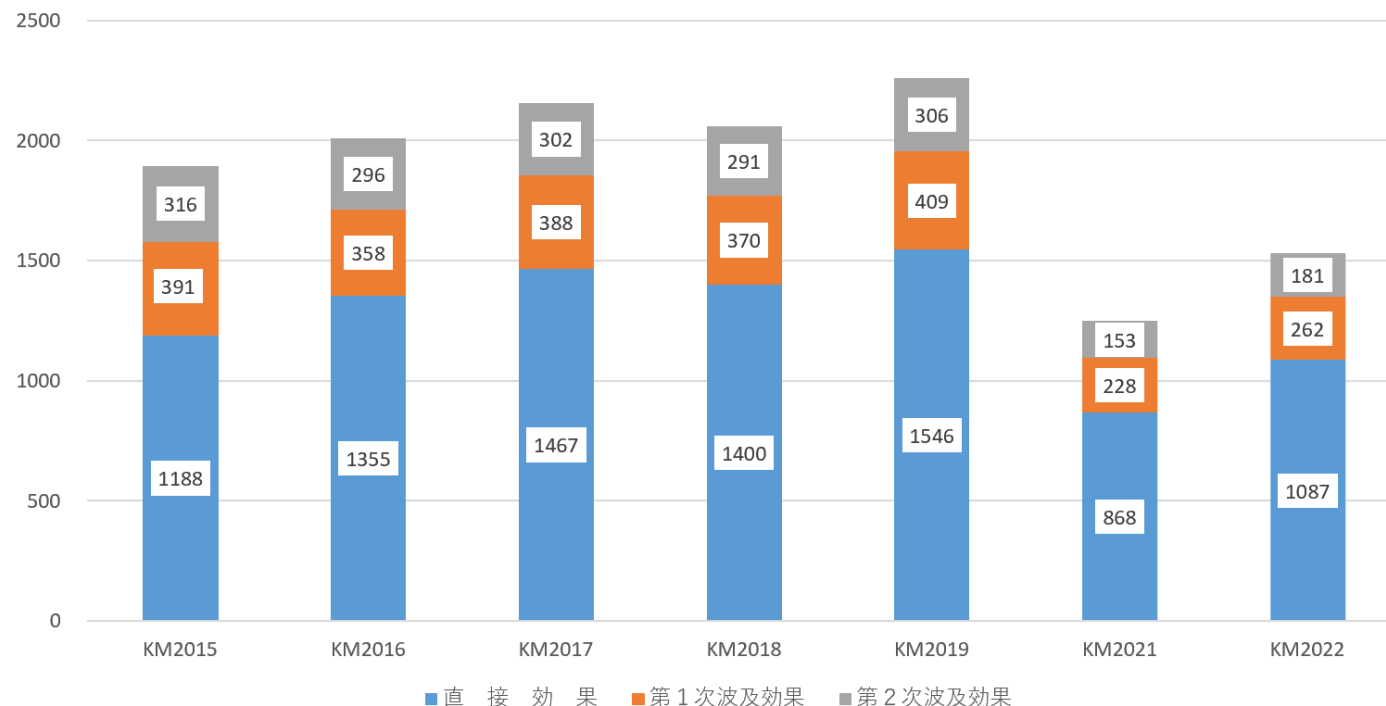
表 7 消費総額の推計

- ・ KM2021に比べると、参加ランナー等の増加などから、消費総額は増加。
- ・ 一方で、KM2019に比べると、消費単価の高い海外ランナーの参加が見送られたことから、ランナー等の消費総額（推計）は8.2億円⇒4.7億円と依然として大きく下回っている。
- ・ 沿道応援者等の消費総額（推計）も7.2億円⇒4.0億円と同様に下回っている。

項目	人数 (人)	消費単価 (円)	消費額(A) (百万円)	参考	
				2019年 消費額(B)	A-B
ランナー消費額	12,011		302	398	-96
県外	7,111		267	361	-95
海外	0	0	0	96	-96
隣接県	925	16,737	15	15	1
その他	6,186	40,591	251	251	0
石川県内	4,900		36	37	-1
金沢市内	2,763	6,619	18	20	-2
金沢市外	2,138	8,179	17	16	1
ランナー同行者消費額	6,536		167	418	-251
県外	3,930		147	393	-246
海外	0	0	0	239	-239
隣接県	509	16,737	9	8	1
その他	3,421	40,591	139	146	-7
石川県内	2,606		19	25	-5
金沢市内	1,284	6,619	9	12	-3
金沢市外	1,321	8,179	11	13	-2
ランナー等消費額	18,547		469	816	-347
沿道応援者消費額	134,000	2,965	397	723	-326
ボランティア消費額	4,816	975	5	6	-1
大会関係者消費額	1,800	975	2	2	0
関係者消費額 合計			873	1,547	-674
大会運営費			484	424	60
消費額・大会運営費合計			1,357	1,972	-615

資料：KM2022ランナーアンケート結果をもとに作成

図 5 石川県内への経済波及効果額の推移



【表 8】経済波及効果額推移

(単位：百万円)

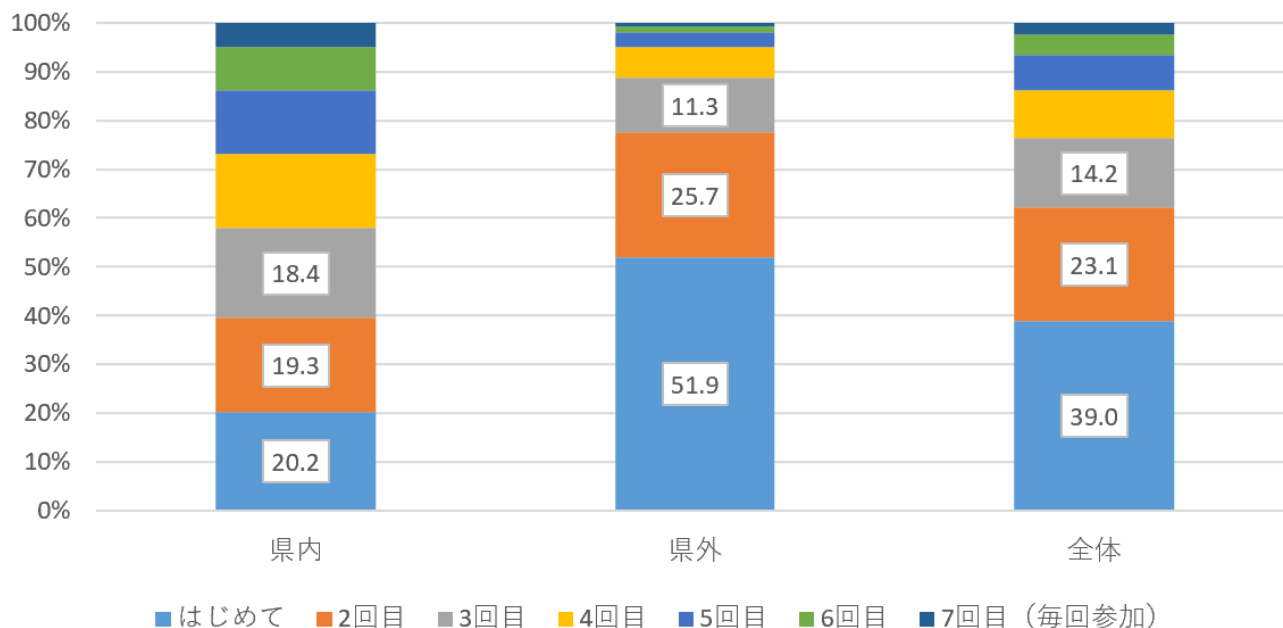
	KM2015	KM2016	KM2017	KM2018	KM2019	KM2021	KM2022
直接効果	1188	1355	1467	1400	1546	868	1087
第1次波及効果	391	358	388	370	409	228	262
第2次波及効果	316	296	302	291	306	153	181
経済波及効果	1894	2010	2157	2061	2260	1248	1529

- KM2022開催による石川県内への経済波及効果は、マラソン参加者が県内で消費することによって生まれる「直接効果」が10.9億円、直接効果によって誘発される「第1次波及効果」が2.6億円、「第2次波及効果」が1.8億円となった。

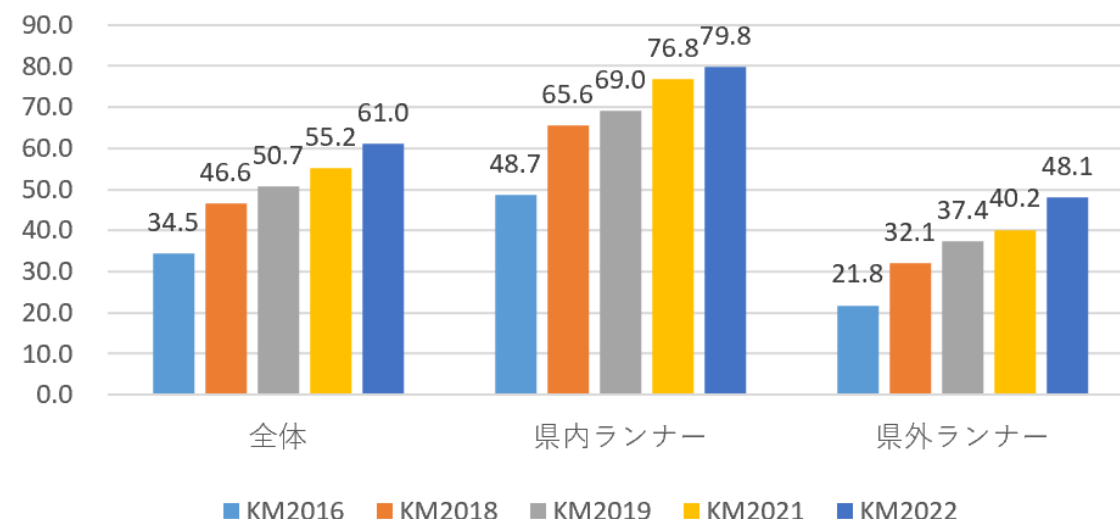
資料：KM2022ランナーアンケート結果をもとに作成

ランナー参加回数別内訳

【図6】 KM2022ランナー参加回数別構成比（単位：%）



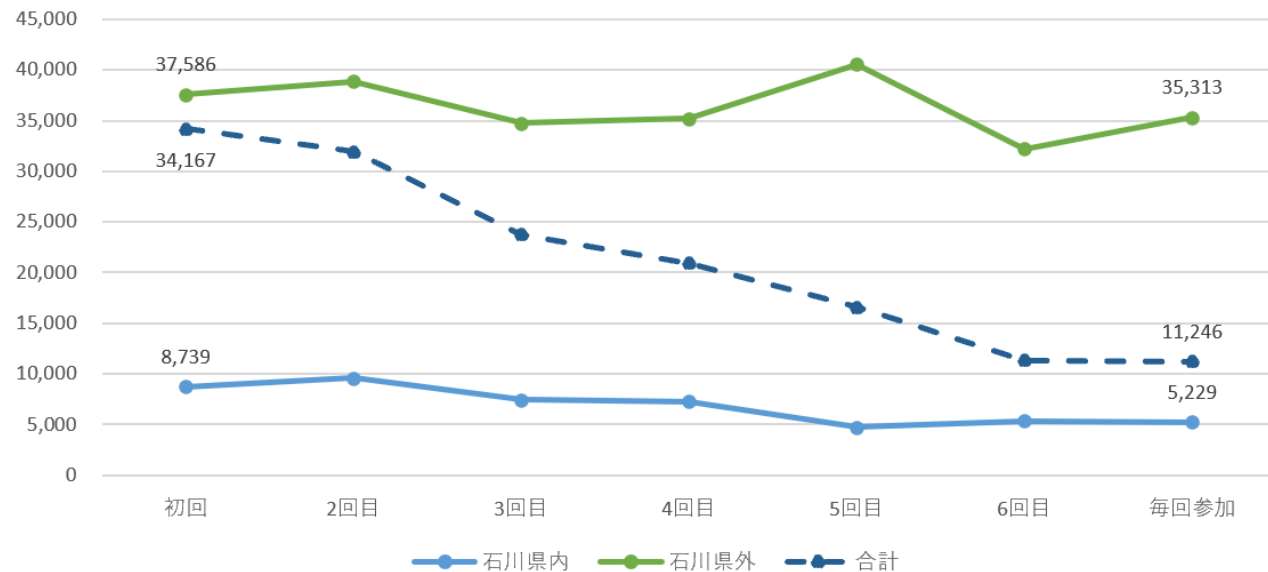
【図7】 リピーター比率推移（単位：%）



資料：KM2022ランナーアンケート結果をもとに作成

- ・ 回を重ねるごとにリピーターは着実に増加。一方で、県外ランナーの初回参加率は約5割を維持しており、初めて参加するランナーも着実に取り込んでいる。市民マラソン大会として定着するとともに、人気不衰えていることを示している。

図8 ランナー参加回数別消費単価



【表9】ランナー参加回数別消費単価

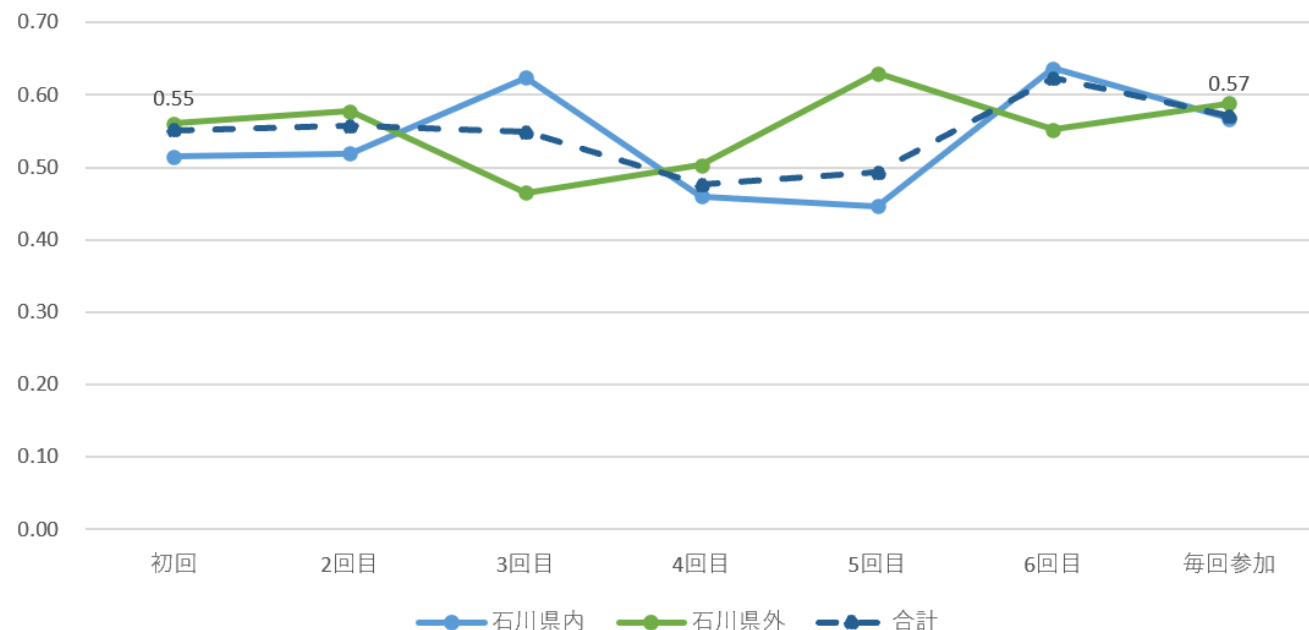
(単位：円)

	初回	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	毎回参加	平均
石川県内	8,739	9,565	7,438	7,295	4,758	5,381	5,229	7,300
石川県外	37,586	38,872	34,776	35,203	40,588	32,192	35,313	37,458
合計	34,167	31,931	23,739	20,918	16,586	11,339	11,246	28,510

資料：KM2022ランナーアンケート結果をもとに作成

- ・ KM2022の消費単価を県内外で比較すると、県外の消費単価が圧倒的に高い。
- ・ また、参加回数を重ねても、消費単価は比較的安定している。とくに、県外ランナーの消費単価は高い水準を維持している。
- ・ なお、回を重ねるごとに全体の消費単価が低下するのは、県内・県外間の構成比の変化によるもの。

図9 ランナー 参加回数別同行者数



- ・ KM2022の同行者数を県内外で比較すると、大きな差を確認することはできない。
- ・ また、回を重ねるごとの変化についても、必ずしも確認することができない。

資料：KM2022ランナーアンケート結果をもとに作成

【表10】 KM2022ランナー参加回数別同行者数

(単位：人)

	初回	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	毎回参加	平均
石川県内	0.51	0.52	0.62	0.46	0.45	0.64	0.57	0.53
石川県外	0.56	0.58	0.46	0.50	0.63	0.55	0.59	0.55
合計	0.55	0.56	0.55	0.48	0.49	0.62	0.57	0.54

表11 県外ランナーの観光動向

【表11】観光先別観光者数（県外ランナー、複数回答）対比

		KM2019			KM2022		
		人数（人）	構成比	実観光者数比	人数（人）	構成比	実観光者数比
	兼六園	704	18.6	49.8	737	17.5	44.9
	金沢城公園	710	18.8	50.2	827	19.6	50.4
	金沢21世紀美術館	443	11.7	31.4	462	10.9	28.2
	近江町市場	869	23.0	61.5	1,036	24.5	63.1
	ひがし茶屋街	518	13.7	36.7	593	14.1	36.1
	長町武家屋敷	238	6.3	16.8	245	5.8	14.9
	輪島朝市	16	0.4	1.1	10	0.2	0.6
	和倉温泉	28	0.7	2.0	24	0.6	1.5
	加賀湯泉郷	50	1.3	3.5	47	1.1	2.9
	その他	200	5.3	14.2	239	5.7	14.6
観光者小計（延べ人数：A）		3,776	100.0		4,220	100.0	
観光はしていない（B）		647			750		
回答ランナー数（C：人）		2,060			2,391		
実観光者数（D = C - B：人）		1,413			1,641		
実観光者比率（E = D / C × 100：％）		68.6			68.6		
一人当たり観光先件数（F = A / D：件）		2.7			2.6		

- ・ KM2022の県外ランナーの実観光者比率や1人当たり観光件数は、新型コロナウイルス感染症が生じる前のKM2019と比較して、大きな変化はみられない。
- ・ 観光先についても、引き続き市内中心部の観光スポットに人気が集中している点に変化はみられない。

まとめ（１）

- ・ KM2022の開催による経済波及効果は約 1 5 . 3 億円と推計される。前回大会（KM2021）の経済波及効果額約 1 2 . 5 億円と比べると約 2 . 8 億円の増加となったが、海外ランナーが参加した2019年大会（KM2019）の約 2 2 . 6 億円と比べると、約3分の2の効果にとどまっている。
- ・ KM2021に比べて経済波及効果額が増加したのは、参加ランナーの増加やそれに伴うランナー同行者の増加、消費単価の増加等によるものと考えられる。

まとめ（２）

- ・参加ランナーの消費単額は全体的に増加したものの微増にとどまっている。また、参加ランナーはあくまでもマラソンへの参加が主目的であり周辺観光などは比較的小規模であり、この傾向はKM2022においても変わっていないとみられる。加えて、回を重ねるごとにリピーターが増加しているが、これらリピーターの消費単価が回を重ねるごとに低下していくような傾向はみられない。
- ・このため、経済波及効果をさらに高めていくためには、消費単価の高い海外ランナーや関東圏をはじめとした遠隔県ランナーの参加を促し、加えて、自粛要請などを伴わない沿道応援の実現を通じて沿道応援者を増やしていくことなどがカギを握るものと考えられる。